

学校長あいさつ
校長 向井 秀俊

芸術の秋、文化の秋と呼ぶに相応しい季節になりました。今年は展示発表のみになったとはいえ、文化祭が行えることを嬉しく思います。これまでに、各学年・各クラス・各教科・各部で作り上げた作品をしっかりと鑑賞しましょう。

私は芸術・美術に関する知識は豊富ではありません。しかしながら、一つひとつの作品を見ると、それぞれに個性があり違っていると感じることが出来ます。非常に細かなところまで丁寧に作られており、繊細さを感じる作品。大胆な筆遣いで、力強さを感じる作品。ユニークな発想で、思わず微笑んでしまう作品。大勢の力が結集され、団結と苦勞を感じる作品。何となく、世界に一つしかない作品です。

芸術作品には、ペーパーテストのように正解などありません。どの作品にも、作った人の思いや苦勞が入っていてすべてに素晴らしさがあります。桜宮中学校が丸一となって取り組んだ文化祭の作品も、すべてが非常に価値あるものだと思います。それぞれの個性を感じながらみんなで楽しみましょう。

生徒会長あいさつ
徒会会長 井上 誓

2020年度前期生

秋が深まり、文化祭の季節となりましたが、みなさんは、『文化』という言葉に関心を寄せたことはありますか？文化という意味の英語の『culture』は、【くわを使って土地を耕すから心を耕すに転じた】とされています。もともと生きるために最低限必要だった農耕を意味していたものが、豊かな生活を求めて洗練され、そして今日の『心を豊かにする』という考え方になりました。文化というものは人間の根底にある、豊かさを求める本能、つまり「向上心」によって作られてきたものであり、これこそが人類の発達を支えてきたものです。

生徒の皆さんも、クラスや学年で一つの作品を創りながら「こうしたらもっと良くなるんじゃないか」と思ったことでしょう。文化祭は、普通授業では感じることをできない、本能的で純粋な「向上心」が体感できます。とはいえ、学校行事を行う上での最大の目的は、学んだことを生かして日常をより快適にすることです。「もっとこうしよう」といった気持ちを明日からの生活に応用しましょう。みなさん自身の手で、向上心を持って改善することで、改善されたという効果が感じられると思います。そしてそれが、一つの文化を直接形作ることとなります。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、残念ながら文化祭の舞台演技の部もなくなってしまいました。楽しみにしていた生徒や保護者の方々、地域の皆様も多いと思います。しかし、今年度は班が、クラスが、学年全体が丸一となって、一つの作品を作り上げることができました。舞台演技がなくなってしまって寂しいですが、他学年のより磨きのかかった作品をじっくりと鑑賞しましょう。

2020

文化祭



年	組	番	氏名
---	---	---	----

1 階

倉庫

玄關

管理
作業員室

トイル

武道場

華道部
「季節のお花」
季節のお花を生けています。信貴山真華流です。

2階

2年美術科
「色面構成の展示」
様々な色面構成をしました。楽しんで見てく
ださい。

3階

分割教室

トク

1-2

1-

トイ

準

54

三階

2年音楽科
「作曲家ポスター」
2年生の夏休みの宿題で作曲家を紹介するポスターです。

準

音

17

家庭科

1, 2年「ファイルカバー」
3年間授業で使うファイルカバーを作りました。刺繍も頑張りました。

2年「料理レポート」
休校中に挑戦した料理をレポートにまとめました。

英語科

1年「About OO!」

英語で自己紹介を書きました。個性あふれるイラストにも注目！

2年「英語俳句で国際交流」
昨年度から取り組んでいるビジュアル英語俳句で国際交流に挑戦中！！

2年国語科
「創作短歌」
「秋」をテーマに短歌をつくりました。行書もしたためました。

4階